2024 年度教員研修プログラム

「3D で地形を見る・動かす・つくる：Blender と地理院地図を用いた授業デザイン」を開催しました

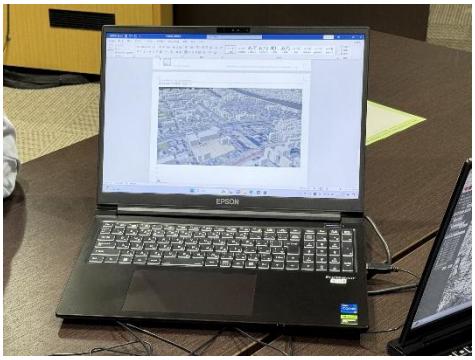
開催日時：2024 年 7 月 31 日（水）　10:00-17:00
場　　所：兵庫教育大学神戸キャンパス　対面による実施
講　　師：小倉拓郎 講師、遠藤未来 インテル株式会社、山内啓之 立命館大学准教授

2024 年 7 月 31 日（水）に、教員研修「3D で地形を見る・動かす・つくる：Blender と地理院地図を用いた授業デザイン」を開催しました。小倉拓郎講師と、インテル株式会社の遠藤未来氏、立命館大学の山内啓之准教授の 3 名が講師を務め、兵庫県内外より教科・校種を問わない 11 名の教員が受講しました。

本研修では、近年オープンデータとして扱いやすく、取得しやすくなった地理情報を活用し、3D 教材を作成しどう授業に導入することができるかどうかを考える機会を設けました。高等学校地理歴史科では、今次の学習指導要領にて地理総合が必修化し、地理情報システム（GIS）の活用に関する学習を行うことが必要とされています。本研修では、教科書や学校現場で良く使用されている国土地理院の地理院地図を用いた地形・土地利用の表現に関する研修を行った上で、地理院地図 3D を用いた三次元表現や、普段学校現場では使用する機会が少ない Blender を用いた地物の表現も行ってみました。

本研修プログラムは、インテル株式会社が提供している、インテル® Skills for Innovation を活用しています。また、インテル株式会社と研修プログラムを共同開発し、テクノロジーを活用することによるマインドセットについても、学校教育の範疇を超えた見方・考え方を養うことができる研修を実現しました。

受講生からは、「楽しく学ぶこと」の重要性や、テクノロジーの背景となる原理そのものを学ぶことによる理解が必要であること、教師自身が常に新しいことを知る必要性を感じた、などのフィードバックがありました。今後も研修内容を改善していく予定です。



受講生が Blender で作成した 3D 地図